

光と洗剤の泡で1日2000匹

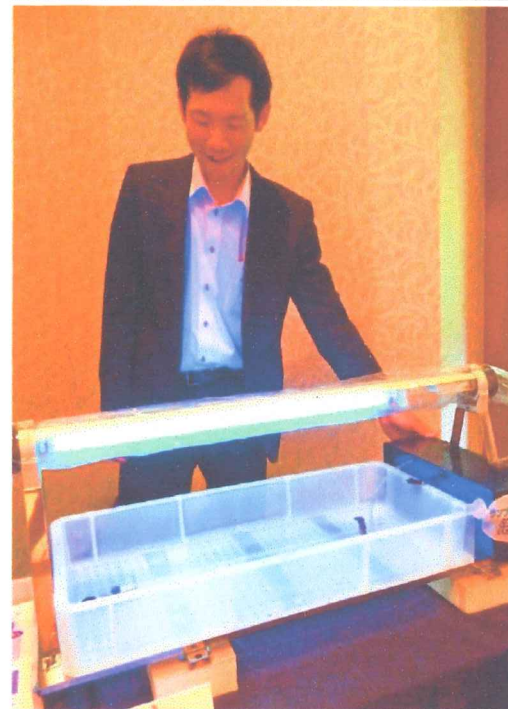
キノコバエ捕殺器

ニッポー

環境制御装置など園芸資材を販売するニッポーは、きのこを加害するキノコバエを光で誘引し、食器用洗剤の泡で捕殺する「ハエと〜る」を開発した。菌床きのこの栽培施設で使える。試験では1台で1日2000匹以上を捕殺。9月に発売を予定する。

光は、誘蛾灯の紫外線ランプを使う。ランプの下に、洗剤など界面活性剤を1リットルあたり1ミリの入った水が8〜10リットル入る横63センチ、縦30センチのプラスチック製トレーを設置。電源を入れるとトレーの底から空気が出て、ランプ近くまで泡立ち、光に近づいてきたハエを泡で飛ばなくして捕殺する。常に空気を出すと吹き

こぼれるため、タイマーで調節できる。標準では15分止めることで泡立ち



キノコバエを泡に落として捕殺する「ハエと〜る」(福島県いわき市で)

が続く。トレーが汚れたら、泡立ちにくくなったら水と洗剤を取り換える。100平方センチに1台の

設置が目安。夕方の作業終了時、扇風機で風を送りハエをきのこから離し、施設内の照明を消して捕殺器を使えば、より

誘引され効果が高まる。価格はオープン。教台をモニター試験したところ、簡単に大量捕殺できるとして好評という。問

い合わせは、フリーダイヤル(0120)963166。